

土居昌弘の大分県議会議員活動報告

羽ばたき

平成30年
第20号

民主主義の挑戦!! 輝き合う社会を求めて

編集：大分県議会自由民主党

発行：大分県議会自由民主党

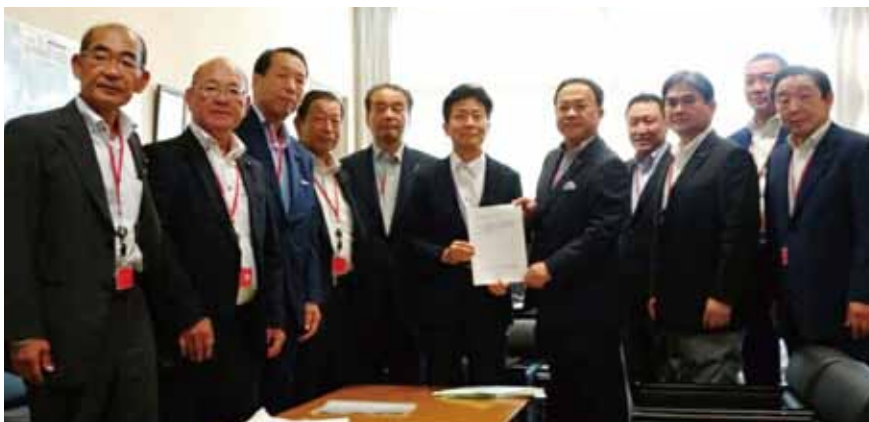
土居昌弘連絡事務所 〒878-0005 竹田市挾田670番地

TEL 0974-62-4848 FAX 0974-63-0124

土居昌弘公式ホームページ
<http://doi-masahiro.net/>



九州中央3県（大分・宮崎・熊本）議員連盟で7月24日、25日に財務省と国土交通省を訪れ、中九州横断道路の早期完成を要望しました。土居議員は九州中央3県議員連盟会長として要望書を手渡し、朝地～竹田間の今年度完成を確認して、これから先の協議をしました。石川道路局長（当時）は「地元の見解をまとめていきたいと思います」と、議員達に念を押されました。



平成30年度竹田土木事務所 事業別当初予算(一部)

(単位:万円)

県道竹田直入線(鏡工区)道路改進黨業	600
(植木工区)道路改進黨業	5,400
県道白丹竹田線(下志土知工区)道路改進黨業	6,000
(飛田川工区)道路改進黨業	7,400
県道神原玉来線(中尾工区)道路改進黨業	2,700
国道442号(久住拡幅Ⅱ(県境))道路改進黨業	4,400
県道庄内久住線(塩手工区)道路改進黨業	15,508
(久住工区)道路改進黨業	14,853
(仏原工区)交通安全事業	6,000
(新田工区)交通安全事業	1,500
国道502号(片ヶ瀬)災害防除事業	13,500
県道小川穴井迫線(川床)災害防除事業	200
濁淵川(会々)総合流域防災事業	3,000
下矢倉川(君ヶ園)火山砂防事業	4,300
瀬の口地区(次倉)地すべり対策事業	6,200
上下木地区(会々)急傾斜地崩壊対策事業	2,900
次倉中央地区(次倉)急傾斜地崩壊対策事業	2,300
渡瀬地区(渡瀬)急傾斜地崩壊対策事業	2,400
殿町地区(竹田)急傾斜地崩壊対策事業	2,200
濁淵地区(挾田)急傾斜地崩壊対策事業	700
田原地区(飛田川)急傾斜地崩壊対策事業	1,600

積極予算で豊かな暮らしを実現

大分県議会平成30年第1回定例会が3月29日に閉会。議会が当初予算案6,169億円を可決して、30年度がスタート。大分県は「安心・活力・発展」の各分野に意欲的な施策を投入し、地方創生を前進させる5年連続プラスの積極予算を編成しました。

①災害からの復旧・復興と防災力の強化
②景気回復と人手不足の両にらみでの対応
③大分県版地方創生の実現に向けた「安心・活力・発展プラン2015」の取り組みを前進
④地方創生を後押しする国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭などの成功と、ラグビーワールドカップ2019に向けた着実な準備を掲げています。これからの県の事業推進が楽しみです。

また、6月12日開会の第2回定例会では、

中津市耶馬溪町の斜面崩壊災害の本格的な復旧に向けて、国による事業採択の決定後、速やかに工事着手できるように工事費を計上しました。併せて、県内市町村による土砂災害警戒区域のハザードマップ作成を支援します。さらには「おおいた動物愛護センター」の設置条例を裁定し、大銀ドーム隣で建設中の大分県営体育施設を「大分県立武道スポーツセンター」としました。

さて、竹田市でも様々な事業を実施していきます。そのなかで、これは国の事業ですが、中九州横断道路建設について、現状を報告します。只今、国による中九州横断道路建設に係わる第2回目の意見聴取が行われていま

す。現在、朝地ICから竹田ICまでを今年度中に完成させる工事を実施中です。さて、それから先をどうするのかを国の社会資本整備審議会道路分科会九州地方小委員会が検討しています。路線を計画する概ねの幅は、どこが最適ななど、検討材料として地元の見解を伺うのです。期間は、9月14日まで。

そこで、竹田市民はどうするべきでしょうか。地元の見解が割れていけば、事業にはかかれぬかもしれないかもしれません。市民が本気で高規格道路を整備し、熊本県と結ばれようと思うのなら、地元が一枚岩となって、力を合わせるだけでなく、心も合わせていかなければならないのです。この市民の総意づくりに、土居議員は力を傾注させます。

平成30年度も大事な事業が目白押しです。一つひとつ丁寧に進捗具合をチェックしながら、それぞれが人々に喜ばれる事業となるように活動してまいります。



日本一に輝いた豊後牛！関係者の努力が実りました。この機を逃さず、豊後牛のブランド確立を実現させましょう。

豊後牛のブランド確立を実現させましょう。関係者の努力が実りました。この機を逃さず、豊後牛のブランド確立を実現させましょう。

豊後牛のブランド確立を実現させましょう。関係者の努力が実りました。この機を逃さず、豊後牛のブランド確立を実現させましょう。

和牛日本一を活かせ

全国和牛能力共進会長崎大会が終わり、大分県は総合3位の好成績。これからの振興策は。

大蘇ダム ついに完成へ

平成21年第4回定例会 一般質問

大蘇ダムは本体工事が完了したものの、ダムから大量の漏水が発覚。計画どおりの農業用水の供給ができない。地元は混乱している。県は、どうするのか。

「水漏れダム」と言われる不完全なダム。早期の供用開始と漏水対応を、国の責任で実施することを求めている。

※浸透抑制工事も進み、完成（平成31年度工事完了、32年度供用開始）が見えてきました。これを機に大野川上流地域の農業が進化します。

農林水産部長答弁 確かに、豊肥地区のイノシシ被害は県全体の4割強。豊肥地区ではイノシシ被害を減らすことが最重要。予防強化集落に指定して対策に取り組むことや、防護柵を設置する。

豊肥地区の平成29年度の鳥獣被害額は4千4百万円。皆さんの取り組みが効果を現しています。しかし、まだまだ対策に取り組みが足りません。

さらなる獣害対策を

農家負担を軽減

平成25年第2回定例会 一般質問

農業を営む基盤を整備する農業農村整備事業。竹田市内でも事業を実施したいという要望はあるが、農家負担がネックとなっている。農家負担の軽減を図ってもらいたい。

農業農村整備事業における農家負担の割合(%)



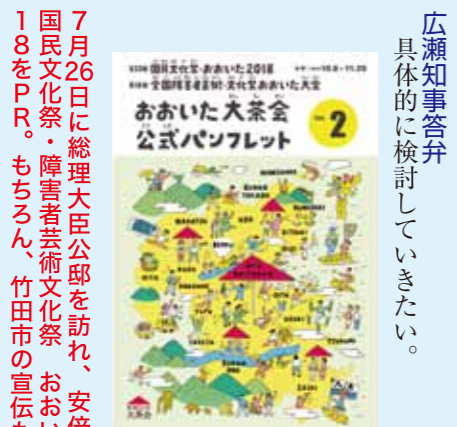
農業農村整備事業における農家負担の割合(%)

	農業水利施設保全合理化	危険ため池緊急整備
平成25年度まで	7.5	2
平成26年度から	5	1

※県の決断と市町村の協力によって、平成26年度から農家負担軽減が実現しました。



7月26日に総理大臣官邸を訪れ、安倍首相に国民文化祭・障害者芸術文化祭、おおいた2018をPR。もちろん、竹田市の宣伝も。



おおいた大会 公式パンフレット

今年度の国民文化祭は鹿児島。来年は愛知、平成30年に大分で開催しては。

国文祭 大分県開催

政々動々 SAY>SAY DO>DO! 願いをともにし、一緒に動く 一念通天。暮らしづくりのお手伝い!



ちょっとだけピックアップ

大分県議会議員 土居昌弘 県議10年の歩み

32年度治水効果発現 玉来ダム

平成21年第4回定例会 一般質問

玉来ダムは基本設計が終わり、これから用地買収というところで国から止められた。事業の凍結というのだ。今後の玉来ダム整備の見通しは。

先行きは不透明。円滑に事業進捗が図れるよう国に強く要望する。

※この時、国は民主党政権。「脱ダム宣言」で政策転換をPRし、ダムを建設する予算を削減・凍結。玉来ダム建設もストップ。そこに平成24年災の甚大な被害。幸い、政権は自民党・公明党の連立政権に戻り、今年の秋からダム本体のコンクリート打設が始まります。すべて完成するのは34年度です。

ラグビーW杯 大分で開催

平成21年第4回定例会 一般質問

ラグビーワールドカップが2019年に日本で開催されることになった。現時点では、大分県は開催候補地になっていない。九石ドームの活用もできる。国内海外にも情報発信できるチャンスだ。大きな経済効果をもたらすとも情報に、金銭に換算されない素晴らしい財産も残してくれる。大分の開催を検討して。



4月に香港で開催された7人制ラグビーの国際大会「香港セブンス」。その会場で、九州でW杯を開催する福岡、熊本、大分が共同してPR活動。来年はラグビーW杯日本大会。皆さん、大分で待っています！

大分県畜産公社建設にともなう 竹田市の負担金 903万円削減!

	負担金額
26年予算特別委員会	8,109万円
28年畜産公社完成	7,206万円

竹田市負担を削減

平成26年予算特別委員会 質疑

県の畜産公社を建替えるようになった。これにともない市町村に、その負担を求めている。ところが、この負担金を市町村の飼養頭数などで算出している。つまり、公社を利用してない頭数も含まれている。これでは納得いかない。再考を。



畜産振興課長答弁 もちろん、県の公社を利用せずに、他県に持っている方もいる。しかしながら、家畜の病気が出た時や、公社の新機能を利用するために、公社を使い出す方もいるはず。だから、このままでいきたい。

※最終的に県は土居議員の主張を汲んでくれ、公社への出荷頭数も考慮した算出方法による負担金を竹田市に求めました。

精神障がい者バス割引開始

平成21年第4回定例会 一般質問

交通機関の障がい者運賃割引は、身体、知的の障がい者にはあるが、精神障がい者にはない。ないのは九州で2県のみとなった。どうするのか。

福祉保健部長答弁 バス、タクシーの経営環境は厳しいようだ。交通機関へ再度要望する。

※機会があるたびに問い続けた土居議員。大分県バス協会、大分県タクシー協会、大分県精神障害者福祉会連合会なども協議を重ねました。その結果、ついに平成30年度からの精神障がい者割引運賃が実現。社会に出やすくなりました。

障がい者差別禁止条例制定

平成22年第3回定例会 一般質問

全国自治体で、障がい者への差別を禁止する条例を制定する動きがある。大分県もどうか。

福祉保健部長答弁 国の障がい者制度改革推進会議や、国の法令整備の動向を注意深く見守っている段階だ。

※障がいのある人が不当な差別を受けている実態。土居議員は何度もこの問題を取り上げ、執行部と対峙。そして、県は28年に「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県つくり条例」を制定しました。社会を変えます。

精神科救急医療 体制整備

平成25年決算特別委員会 質疑

精神科救急医療体制を整える。県立病院が最大の課題。精神科救急医療をするならば、医師が最低7名はいる。私自身も精神科救急を任されている精神科病院を見て回っているが、医師確保が難しいようだ。

※県立精神科病院が平成32年度に開設予定。医師の確保も大分大学の協力によって克服。大分県にはこれまで整備されていなかった精神科救急医療体制を整えます。ハードとソフト、ともに最高なものを目指していきます。

障がい者歯科診療体制構築

平成25年第4回定例会 一般質問

本県では、障がい児者の歯科診療を専門に行っている機関は一つ。専門歯科医が孤軍奮闘しているが、常に予約が取りにくい。対策は。

福祉保健部長答弁 具体的な施策の参考のため、障がい児者の歯科診療実態や要望等を把握するためアンケート調査を実施。現在集約中で、これを整理して検討する。

※平成29年度に、大分県歯科医師会が障がい児者専門の歯科診療所を開設。歯科医師会の「障がい児者の診療をなんとかしたい」という熱意と行動、そして県行政の支援によって実現しました。

整備促進！中九州横断道路

平成21年第4回定例会 一般質問

先日、民主党政府が示した大野竹田道路の予算は5億から6億円程度。政権交代前の予算は約40億円。完成は、一体いつになるのか。見通しも含め、見解は。

土木建築部長答弁 大変厳しい状況だ。国に対して、予算全体の増額を強く要望している。

※当時は、民主党政権。「コンクリートから人へ」を掲げ、社会資本整備予算を削減。中九州横断道路の建設予算も激減。しかし、政権は自民・公明連立政権に戻り、今年度竹田ICまで完成します。次は、熊本県境まで。滞ることなく進捗できるように取り組みます。

高等特別支援学校創設

平成29年第1回定例会 一般質問

高等特別支援学校とは、一般就労を目指した、職業科のカリキュラムを充実させた高等部の支援学校。大分県にはない。県でも創設しては。

教育長答弁 25～29年度までの第2次特別支援教育推進計画におけるフォローアップ委員会から意見を伺っている。それをもとに次期計画の中で検討を進める。 ※土居議員が次に登壇した一般質問（平成29年第3回定例会9月15日）では、教育長は第3次計画策定作業の中で方向性を定めていくと答弁。これを受けて、12月8日に県知的障がい教育校PTA連合会は、「高等特別支援学校」設置を求める5969人の署名を県教育委員会に提出。県教育委員会は設置を決めました。



ドクターヘリ導入

平成22年第2回定例会 一般質問

ドクターヘリは重篤な患者が発生した場所に医師と看護師をいち早く派遣し、救急患者の救命率を向上させる。ドクターヘリの導入を。 広瀬知事答弁 24年度からの導入を目指す。 ※平成19年に医師確保ができないことから救急告示医療施設の指定を返上した竹田医師会病院。土居議員は竹田市と、県の医療政策課に頻りに足を運び、議論を深めました。出た結論は、医師派遣。しかも、救急ドクターヘリの導入を図った土居議員。知事の英断と、大分大学の協力を得て、今、ヘリは医師と看護師を乗せて空を飛んでいます。



昨年体験入学の様子。県下各地から69名の中学3年生が参加しました。しかしながら、今年の久住校の1年生は12名。さらなる魅力づくりが始まります。

久住校全国募集 と本校化

平成23年第2回定例会 一般質問

久住校は120名だが、2年連続して80名未満になると生徒募集停止。農業技術者養成の専門高校として、生徒を全国募集してみたい。 教育長答弁 現時点では考えていない。 ※高校再編で、県下唯一の農業系単独校となった三重総合高校久住校。さらに農業教育に力を入れ、三重総合高校の分校でなく本校化し、その農業教育をPRして生徒を全国から生徒を集めようと、土居議員は再三提案。ついには年度から実現します。

急いで 久住工区工事

平成29年決算特別委員会 質疑

久住の新しい町を通る県道庄内久住線のバイパス工事。地域の方々には協力を惜しまず、事業を進めてもらいたいと言っている。今後の予定は。 道路建設課長答弁 改良工事は用地が片付いたら工事。できる限り早く用地を取得し、速やかに工事に移行できるように、しっかりとやっていく。

大分県議会 平成30年 第2回定例会 土居昌弘一般質問



6月12日開会の第2回定例会が、6月27日に閉会しました。今議会では6月20日の一般質問に、土居議員が登壇。竹田市にある課題など、大分県行政が抱える問題点を指摘して、改善を促しました。

保護司会などから土居議員が要望を受けた再犯防止策。障がい者団体の願いでもある障がい者雇用の問題。ブランドとして通用しない「おおいた豊後牛」。三重総合高校久住校の本校化に向けての課題。絶滅危惧のあるチョウ オオルリシジミの保護活動。様々な質問項目を設定して、現状の課題を解決しようと執行部に迫りました。

私達の暮らしには課題が多くあります。その一つひとつと私達、大分県議会自由民主党は向き合い、力を結集させ、解決に向けて活動していきます。

再犯防止を推進

土居議員質問

厚労省の村木事務次官（当時）と話し合いを持った時、彼女は私に「刑務所の出入口は、回転ドア。出たら、すぐに入ってきます」と語った。我が国の再犯率は高い。

国は再犯防止推進法の制定を受け、昨年度、再犯防止推進計画を閣議決定。これにより、都道府県の再犯防止推進計画策定に拍車がかかる。大分県はどうか。

広瀬知事答弁

本県でも、検挙者に占める再犯者の割合は4割を超える。県の再犯防止推進計画については、7月に保護観察所、弁護士会、保護司会などと協議会を立ち上げ、年度内の策定を目指す。



昨年末に大分刑務所を訪れ、刑務所所長、保護観察所所長、県保護司会会長等と、再犯防止について協議。大分県も対策を打たなければなりません。

おおいた豊後牛 ブランド戦略

土居議員質問

「牛は豊後が日本一」という看板に見合うように、全国的な評価を高めていかなければならない。豊後牛のブランドをどう展開していくのか。

広瀬知事答弁

首都圏の20代から40代までの女性にアンケート調査をしたところ、93%の方が「豊後牛を知らない」と回答。いや、「豊後牛」を読めない人も。

そこで「但馬牛」の中の「神戸ビーフ」のように、消費者にわかりやすい新たなリーディングブランドを立ち上げる。現在、戦略会議で検討中。9月には発表したい。

久住校卒業生 就農促進対策

土居議員質問

久住校本校化後の入学者確保に向けて、カリキュラムやPRの充実は欠かせない。入学者数を確保し、さらには定員増を目指していくには、久住校で学んだ生徒達が知識や経験を活かして、地域を支え、儲かる農業を実践していくことが大事。どのように導くのか。

中島農林水産部長答弁

学校現場と関係機関の連携をさらに密にした相談・指導体制を構築する。また、高度なビジネス論を学べる特別講座の開設や、グローバルGAPを学習可能な教育環境をつくる。さらには、在学中から農業大学の授業にも直接触れる機会を提供する。農林水産部も教育委員会としっかりと連携して、久住校をバックアップしていく。

オオルリシジミ保護を

土居議員質問

オオルリシジミとは、絶滅危惧ⅠAに指定される希少なチョウ。九州では絶滅したと思われていたオオルリシジミだが、大分の久住連山周辺と、熊本阿蘇五岳周辺で生息が確認された。

そこで熊本県はチョウを保護するため、無断で採取すると条例上罰則がある希少野生動物に指定。ところが、大分県は指定していないので全国からコレクターが集まり、希少なチョウを採取している。久住山は悲惨な状態だと、3年前に日本チョウ類保全協会が県に指摘している。大分県はどうするのか。

山本生活環境部長答弁

現在、生育状況等の調査を行っている。その結果も踏まえ、条例指定するかどうかなど、保護のあり方を検討する。

広瀬知事答弁

調査に時間がかかっている。直ちに結論を出したい。



オオルリシジミ保存会会長の村田さんに、久住山周辺の生息状況を伺いました。「今年も危機的」と悔しがります。何とかして、この美しいチョウの種を繋いでいきたいです。